



道農連 2017年9月の月間活動トピックス

2017年(平成29年)10月3日発行(第55号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

水田活用予算の確保など秋闘対策の主要課題を整理／第3回米・水田対策委員会

道農連は9月5日、第3回米・水田農業対策委員会(大久保明義対策委員長)を開き、秋闘の主要課題を整理した。具体的には、①平成30年産以降の米の需給均衡化と需要に応じた米生産への対応、②水田活用直接支払交付金の予算確保と交付対象農地見直し対策など、③平成29年産北海道米の有利販売の3点を掲げ、運動を進めていく。提言項目はこれまでの米・水田農業の基本政策の考え方を基本としながら、関係団体との意見交換や地区意見の内容を踏まえ、10月26日の第4回米・水田農業対策委員会で決定。11月に中央行動を実施する。

また、委員会終了後にホクレン米穀事業本部と再生産可能な農家手取り価格の確保などについて意見交換を行った。

官邸主導の安倍農政に対する秋闘の基本方針を決定／第5回執行委員会

道農連は9月29日、第5回執行委員会を開催し、秋闘における基本農政対策、業態別委員会の対策方針、当面する諸課税対策等について協議した。また、衆議院議員の解散で総選挙が行われることから、基本的な対応方針等を確認した。

基本農政について、食料の安定供給と多面的機能の発揮、農業所得の安定を目指す「真の農政改革」の実現を求め、①国際貿易交渉対策、②関連法案の施行と規制改革推進会議の提言に対する対応、③平成30年度農林水産予算の確保対策、④農民政治力の結集を運動の重点に掲げることを決めた。具体的な取り組みでは業態別の提言項目に盛り込み、10月の各委員会で地区意見を踏まえた提言書を決定し、11月に中央行動を実施する。

なお、今後の日程では、11月20日に全道書記長・事務担当者研修会、12月6日に全道地区・市町村組織委員長会議を開催することを決定した。

アジア・アフリカ支援米収穫祭を開催

道農連や連合北海道等で組織する食・みどり・水を守る道民の会(高倉司会長)は9月23日、由仁町の藤田農場で「アジア・アフリカ支援米収穫祭」を開催し、生産者や道民の会会員とその家族等50名が参加した。当日は、6月4日に行った田植祭で植えた苗の成長を確認しながら、収穫作業を行った。

9月の活動記録(上記以外)

- 1日 道てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 6日 食・みどり・水を守る道民の会第1回幹事会
- 11日 道てん菜協会生育状況等現地調査(～12日)
- 20日 日本線虫学会第25回大会シンポジウム
- 21日 道農業再生協議会第2回水田部会
- 22日 道農業青色申告会事務局会議
- 28日 三役会議

10月の活動予定

- 3日 道農連女性書記の会定期総会・研修会(～4日)
- 4日 国際貿易交渉を考える道民会議幹事会
- 6日 水田活用交付金の対象農地に関する道農政部との意見交換
- 23日 第3回酪農・畜産対策委員会・ホクレン酪農部との意見交換会
- 26日 第4回米・水田農業対策委員会
- 30日 第3回畑作・野菜対策委員会・道農政部との意見交換

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。